

(公社) 全日本トラック協会青年部会 令和3年度事業報告

※役員任期の便宜上、令和4年5月の事業まで掲載

1. 研修事業

(1) (公社) 全日本トラック協会青年部会・全国大会

- ① 開催日時 令和4年2月18日(金)
- ② 開催場所 京王プラザホテル (YouTubeによる配信)
- ③ 視聴者数 210名
- ④ 内容
 - i. 「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」
授与式・受賞者事業発表
【金賞】丸憲運輸有限会社
【銅賞】高瀬ロジスティクス株式会社
 - ii. 青年部会令和3年度活動報告
 - iii. 講演
テーマ:「DX(デジタルトランスフォーメーション)がもたらす物流改革」
講師:アレックス株式会社 代表取締役社長兼CEO
(Google 日本法人 元代表取締役社長)
辻野 晃一郎 様
 - iv. 次年度ブロック大会への想いを込めて

(2) (公社) 全日本トラック協会青年部会・代表者協議会

I. 第1回全国代表者協議会(参加人数64名)

- ① 開催日時 令和3年6月18日(金)
- ② 開催方法 オンライン
- ③ 内容
「直近のトラック運送業界を巡る状況」をテーマに、全ト協 星野企画部長による講演が行われた。議事では、令和2年度事業報告ほか承認された。

Ⅱ. 第2回全国代表者協議会（参加人数45名）

①開催日時 令和3年11月26日（金）

②開催場所 全日本トラック協会 全ト協ホール（オンライン併用）

③内容

「トラック運送業のDX～DXの基本から推進時のポイントまで～」をテーマに ascend 株式会社日下社長による講演が行われた。議事では、整備実習用車両の寄贈ほかについて報告を行った。

Ⅲ. 第3回全国代表者協議会（参加人数53名）

①開催日時 令和4年2月17日（木）

②開催場所 全日本トラック協会 全ト協ホール（オンライン併用）

③内容

国土交通省 日野貨物課長より、最近の国土交通省の取り組み等について研修を受けた。議事では、青年部会規約改正案、令和4年度事業計画案が承認された。

（3）（公社）全日本トラック協会青年部会・正副部会長会議

青年部会事業運営（事業計画案、全国大会、全国代表者協議会、他団体との研修、社会貢献活動等）の検討が行われた。

【開催日・場所等】

第1回	6月18日（金）	オンライン併用
第2回	7月29日（木）	オンライン併用
第3回	9月22日（水）	オンライン併用
第4回	11月26日（金）	全ト協
第5回	1月28日（金）	オンライン併用
第6回	2月17日（木）	オンライン併用
第7回	4月20日（水）	オンライン併用

（4）（公社）全日本トラック協会青年部会・ブロック大会

全国9ブロックにて開催し、事業経営基盤の強化等に関する研修等を実施。

【ブロック・開催日・開催地・出席者数】

関東	6月25日（金）	千葉県千葉市	215名
北海道	8月27日（金）	北海道札幌市	120名
近畿	9月4日（土）	和歌山県和歌山市	215名
中国	10月22日（金）	鳥取県鳥取市	201名
北陸・信越	10月29日（金）	富山県高岡市	158名
中部	11月5日（金）	岐阜県岐阜市	220名

四 国	11月12日（金）徳島県徳島市	135名
東 北	11月17日（水）福島県郡山市	128名
九 州	1月21日（金）長崎県長崎市	232名
		計1,624名

2. 青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰について

都道府県トラック協会の青年組織に所属する経営者等が実施した、または今後実施する先進的で創意工夫等のある取組により、他のものの模範となりえるような事業に対して顕彰を行った。令和3年12月3日（金）に審査委員会が開催され、金賞：丸憲運輸（有）、銅賞：高瀬ロジスティクス（株）の受賞が決定し、青年部会全国大会で受賞事業を紹介した。

3. 他団体との交流

（1）自由民主党青年局との交流

令和4年2月18日（金）に開催した全国大会に自由民主党青年局 小倉將信青年局長に来賓としてご臨席いただき、平素の活動に対し、激励をいただいた。

また、令和4年4月20日（水）に自由民主党青年局との意見交換会を開催した。当日は、全ト協青年部会からは正副部会長他12名が、自由民主党青年局からは小倉將信青年局長をはじめ、青年局所属の国会議員16名が出席し、トラック業界が抱える課題等について、意見交換を行った。

（2）（一社）ドライバーニューディールアソシエーション（DNA）との研修会の開催

令和3年7月29日（木）にオンラインでドライバーニューディールアソシエーション（DNA）との研修会を開催した。全ト協青年部会からは、正副部会長他10名が、DNAからは、江川理事長など7名が出席した。

研修会では、両団体からDXの活用事例が紹介され、全ト協からは、岩田部会長が八大株の取り組みについて、DNAからは坂中理事がエスエーサービス株の取り組みについて説明した。その後、参加者より質疑応答・意見交換が行われ、最後に米田副部会長、DNA川北理事が総括を行った。

4. 整備実習用トラックの寄贈について

高校生にトラックへの興味を持ってもらうため、全国自動車教育研究会（全自研）を通じて自動車教育課程を有する高校に対し、整備実習用トラックの寄贈の提案を行った。本提案を受け、3月22日（火）に福岡県立八女工業高等学校（自動車科）へ小型トラックを寄贈した。

5. 物流DX研修動画の制作

今年度重点取組にも挙げているとおり、物流DXやデジタル化を推進するため、青年組織会員向けに「物流DX動画」(全3章)を制作し、全ト協のホームページに掲載した。

6. アンケート調査等への協力

国土交通省より、青年部会に対し、「女性ドライバー用施設の設置状況調査」、「総合物流施策大綱(2021年度～2025年度)DX KPI 捕捉アンケート」、「ICTを活用したトラック営業所等業務の非接触・リモート化等実証調査」への協力要請があり、多くの青年組織会員が調査に協力した。

以上